

自動車車室内の空気質の分析

表面サンプリングに有効な Markes マイクロチャンバーのご紹介

車室内空気質分析の必要性

近年、シックハウス症候群や化学物質過敏症など健康に関する問題が指摘されています。自動車車室内においても空気質の問題への意識が高まっており、自動車メーカー各社を中心に車室内の環境に配慮したクルマづくりが進められています。また日本や中国をはじめとして、世界全体で様々な車室内空気質の規制が実施されています。そのため内装部品や材料から放散される揮発性および半揮発性有機化合物（VOCおよびSVOC）成分をモニタリングして制御することが必要となっています。

適用される試験法の一例

キャビン全体の試験

ISO12219-1
HJ/T 400-2007 (中国)
JASO Z125 (日本)



内装部品の試験

スモールチャンバー法 (ISO12219-4 & 6)
大型バッグ法 (ISO 12219-9, JASO M903)



材料のスクリーニング

直接脱着法 (VDA 278)
マイクロチャンバー法 (ISO 12219-3)
小型バッグ法 (ISO 12219-2)
サンプリングバッグ法 (JASO M902)



様々な用途に使用できる加熱脱着装置

車室内空気の
サンプリング



A ポンプによる
サンプリング

組み立て部品からの発生ガスの
スクリーニング



B スモール
チャンバー



C サンプリング
バッグ

部品/材料からの発生ガスの
スクリーニング



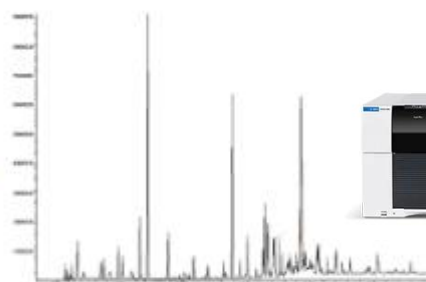
D マイクロ
チャンバー



E 直接脱着



加熱脱着装置



GC/MSによる分析





✓ 4つのチャンバーによる同時サンプリング

✓ 各種捕集チューブ、アルデヒド捕集用カートリッジにも対応

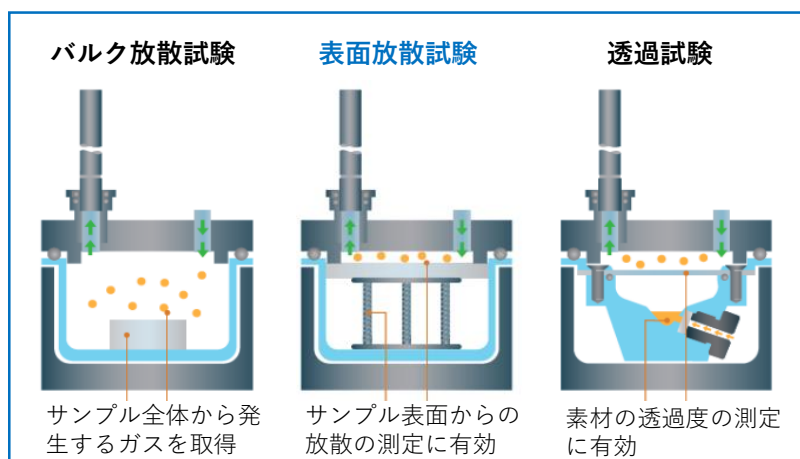
✓ 各種規格に対応

ISO 12219-3 車室内部材から発生するVOCのスクリーニング
 ISO 16000-25 建築材料から発生するのSVOCの測定
 ASTM D7706 製品からの迅速スクリーニング

✓ 他社の加熱脱着-GC/MS装置でも使用可能

✓ 大型チャンバー法やサンプリングバッグ法との整合性を確認

✓ 3つのサンプリングモードを搭載



表面サンプリング

車室内用皮革材料の分析例 表面及びバルクからのVOC発生量を別々に測定可能

